

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 日軽形材株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒716-0061 岡山県高梁市落合町阿部2100番地	
本票作成	部署名：環境・品質システム管理室				
主たる業種	分類コード	23	業種名：非鉄金属製造業		
事業の概要	アルミニウム押出形材及び加工製品の製造・販売				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	本社・岡山工場		岡山県高梁市落合町阿部2100番地	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	平成 27 年度 ~ 平成 31 年度 ( 5 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 3.0 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準							
温室効果ガス排出量	基準年度 (平成 26 年度)			目標年度 (平成 31 年度)					
	23,782 t CO <sub>2</sub>			25,160 t CO <sub>2</sub>					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (平成 26 年度) の排出量					
	①	本社・岡山工場		23,782 t CO <sub>2</sub>					
				t CO <sub>2</sub>					
				t CO <sub>2</sub>					
				t CO <sub>2</sub>					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産量	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		1.628 t CO <sub>2</sub> / ( t )	1.580 t CO <sub>2</sub> / ( t )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (平成 26 年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

- ・歩留り改善、設備更新、エネルギー効率の向上により、省エネ法に基づく年0.6%以上の温室効果ガス排出削減に取り組む。

**【目標削減率達成のための推進体制】**

- ・省エネ法に基づくエネルギー管理統括者を中心としたエネルギー管理体制を敷いている。
- ・ISO14001の要求事項を満たす環境マネジメントシステムを環境・品質システム管理室を中心とした管理体制で運用し、環境改善に取り組む。

**【排出量削減のためのこれまでの主な取組】**

工場等の名称	取組内容
本社・岡山工場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・押出#4コンプレッサー更新 (CO2削減量：27 t/年)</li> <li>・押出各号機プラー更新 (CO2削減量：106 t/年)</li> <li>・#1熱処理炉 炉壁補修 (CO2削減量：20 t/年)</li> <li>・押出1号機 ダイヒーター更新 (CO2削減量：12 t/年)</li> <li>・皮膜冷水系の2系統化 (CO2削減量：46 t/年)</li> <li>・熱処理条件 (6N01合金) の変更による灯油使用量削減</li> <li>・フィルタープレス能力Upによる水酸化アルミ含水率を低減</li> <li>・歩留り及び生産性の向上</li> </ul>

**【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】**

工場等の名称	措置内容
本社・岡山工場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フォークリフトの更新 (バッテリーフォーク化)。</li> <li>・搬送設備 (3段解載装置) の更新。</li> <li>・歩留り及び生産性の向上。</li> <li>・照明のLED化随時更新。</li> </ul>

**【森林保全等吸収源対策への取組計画】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入計画】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

- ・フォークリフトの夜間使用範囲制限を実施中。
- ・冷暖房設備の使用電力削減の為、エアコン使用温度を設定している。
- ・照明等の休憩時間消灯によるエネルギー削減を継続実施中。